

TAJIMA

MOTOR CORPORATION

株式会社タジマモーターコーポレーション

開発事業のご紹介
および事業連携について

@福島イノベ倶楽部視察会

株式会社タジマモーターコーポレーション 沿革

代表取締役
田嶋 伸博



- 1978年 東京都杉並区にモンスターインターナショナルを創業
- 1983年 法人登記しモンスターインターナショナル株式会社を設立
- 1986年 鈴木自動車工業株式会社（現・スズキ株式会社）との業務提携開始
グループ会社として「株式会社スズキスポーツ」を設立
- 1990年 静岡県磐田郡（現磐田市）に「竜洋ファクトリー」が完成
- 2005年 モンスターインターナショナル株式会社から
株式会社タジマモーターコーポレーションへ社名変更
- 2009年 再生可能エネルギーと電気自動車関連を業務を開始
電気自動車、風力発電、太陽光発電の研究開発をスタート
- 2010年 「GoPro」の日本総代理店権を獲得し国内販売開始
- 2012年 **経済産業省 国内立地助成事業 認定（EV製造）**
経済産業省 地域資源活用助成事業 認定（EV開発）
- 2013年 浮揚式津波対策用シェルターSAFE+（セーフプラス）を発表
- 2015年 次世代車開発拠点「タジマ袋井国際次世代自動車センター」を開設
- 2016年 静岡磐田 総合センター 開設
- 2017年 北海道北斗市「TAJIMAレンタルステーション 新函館北斗駅前」開設
- 2018年 **電気自動車開発の為に「株式会社タジマEV」を創業**
- 2019年 **東京モーターショーに出展し電気自動車4車種を発表**
- 2020年 クリーン＆グリーン 事業部を新設し除菌設備「SANITY SYSTEM」の
国内販売開始

弊社の主要事業 ご紹介

Business Classification

タジマモーターコーポレーションのビジネス

モビリティ事業

monster SPORT
コンプリートカスタムカー
モータースポーツ



ものづくり

Diamond
内燃機加工



TAJIMA
EV(電気自動車) 開発・製造

ものづくり



クリーン & グリーン事業

O₃
オゾンによる
除菌・除臭・空気清浄化



用品事業

GoPro
アクションカメラ



USA OPEN
レーシングスーツ



国産車
正規ディーラー



e-モビリティ



Dynabot
e-モビリティ



TAJIMA TIGER
ドローン



輸入車
正規ディーラー



リゾート事業

正規ディーラー



防災事業

TAJIMA
www.tajima-camper.com
キャンピングカー

ものづくり

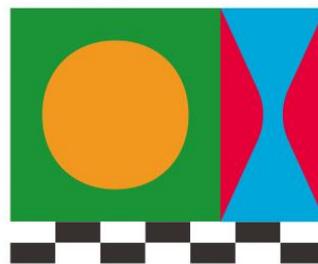


SAFE SHELTER
津波・洪水対策用
シェルター



新たな電気自動車の開発

2019東京モーターショーにおいて、4車種のEVを発表



OPEN FUTURE

TOKYO MOTOR SHOW 2019

10月24日(木) - 11月4日(月・祝)

東京ビッグサイト - お台場周辺エリア

=タジマEVの役割=
クルマの潜在的なニーズに対して、大手自動車会社ではカバーしきれない領域

車のコモディティ化
課題 ↓ 欲しいクルマがない
課題 ↓ クルマ離れ
最高性能への挑戦

大手自動車会社領域
= 普通自動車マスEV =
もっといいクルマづくりの進化

DO NOT TOUCH

少子高齢化・過疎化
乗れるクルマがない ↓ 課題
ラストワンマイル ↓ 課題
最適・便利の提供

乗りたいMobilityづくり

乗りたくなるMobility環境

ハイパーEV

世界最高レベルの日本の技術を集めてHYPER EVを開発
圧倒的な高性能モビリティでEVシフトを加速する

=タジマEVの役割=
両極のEVモビリティ開発

エコノミー&エコロジーEV

Micro EV & EV-Mobility Life 島嶼部や過疎地域での普及

安心できる低速モビリティで新しいEV環境を拡大する

Mobility Life Design

Connectivity

Autonomous

Shared&Service

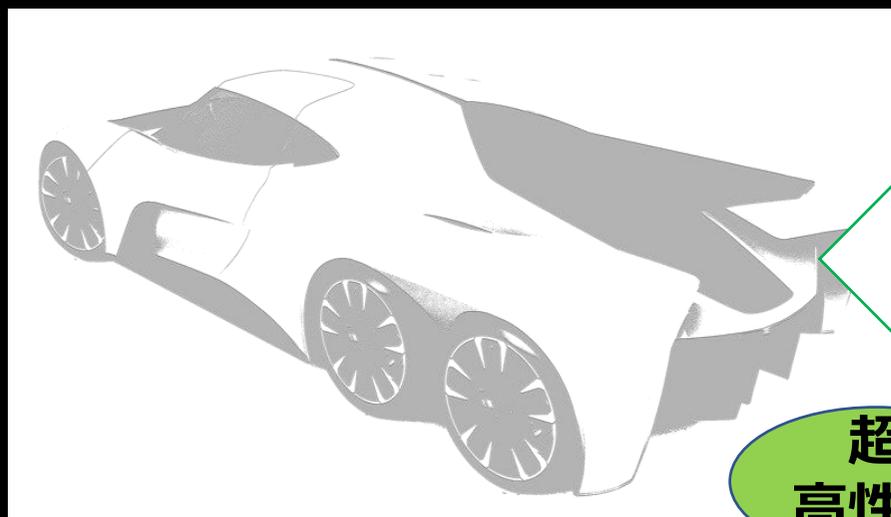
Electrification

都市幹線のAI/IoT化
「インフラ整備」

シェアリングエコノミー
「システム整備」

パワートレイン多様化
「HEV・FCV全方位対応」

新EV開発



超
高性能

両極
EV



低価格
高品質

日本の技術で最高性能へ挑戦
【ハイパーEV】

環境性能と利便性・経済性を追求
【エコミー&エコジ -EV】

乗りたいMobilityづくり
圧倒的な高性能モビリティでEVシフトを加速

乗りたくなるMobility環境づくり
安心できる低速モビリティでEV環境を拡大

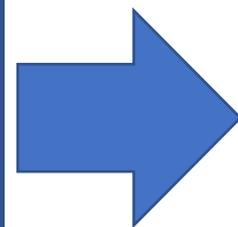
2018年タジマEVを創業

超小型EV TAJIMAジャイアンを発表



超小型 (D2.55 × W1.29 × H1.57m)

- ・ 2人乗り(法規制に遵守)
- ・ 低価格(159万円)
- ・ 低速 (Max 45km/h)
- ・ 家庭用100V充電(8h)
- ・ フル充電130km走行
- ・ エアコン付き
- ・ パワステ付き
- ・ パワーウィンドウ付き



当社の狙い

島嶼地域・僻地
の高齢者向け
電気自動車

↓
低速だから
安全

低速域EVであったから

自動運転

非接触充電

オートシェア

リユース
バッテリー

最先端EVとして進化



(現在は地域限定車両)

超小型EV (乗用車タイプ) 4人乗り

開発中

自動運転
(オプション)

非接触充電
(オプション)

オートシェア

リユース
バッテリー



デザイン



超小型EV (貨物タイプ) 350kg積載 開発中



自動運転
(オプション)

非接触充電
(オプション)

デリバリーカー

リユース
バッテリー

GSM6 (乗合タイプ) 6人乗り 開発中



自動運転
(オプション)

非接触充電
(オプション)

巡回乗合

リユース
バッテリー

EVバス22人乗り

開発中

自動運転
(オプション)

非接触充電
(オプション)

巡回バス

リユース
バッテリー



モビリティシステムを創る | インフラについて

出光昭和シェル
ソーラーパネル
出光産株式会社
ソーラーフロンティア
軽量CIS太陽電池パネル

TAJIMA EV
ELECTRIC POWER
超小型 電気自動車
株式会社タジマモーターコーポレーション
株式会社タジマEV
タジマ超小型モビリティ



DAIHEN
非接触充電システム付
カーポート
株式会社ダイヘン
青空コンセント

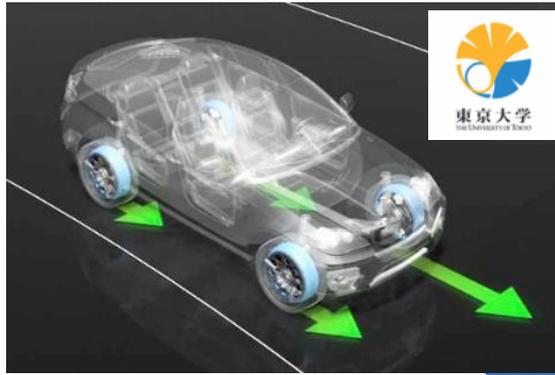
4R ENERGY
リユースバッテリー
フォーアールエナジー株式会社

毎日冒険したくなる
クローラー型電動車いす UNIMO

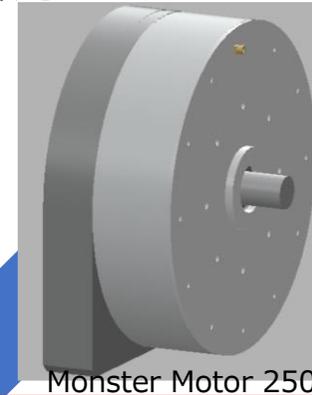
国内初のクローラー方式構造で
段差や溝も乗り越えられます。
行動範囲が広がり、
好きなところに外出できます。



独立駆動制御 (開発)



高出力モーター (開発)



デザイン



Ken Okuyama Design signature

KEN OKUYAMA DESIGN

クリーンな水素エネルギー社会実現に向けて

運輸部門CO2削減目標（温暖化対策計画案）2013→30年 27.6%減の実現

温暖化対策目標の達成に不可欠となる先進環境トラック・バスの普及が必要

経済産業省策定「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版」

◆燃料電池自動車の普及目標

2025年までに20万台程度、2030年までに80万台程度

◆水素ステーションの整備目標は、

2025年度までに320箇所程度（2020年5月末で157か所 ※整備中含む）

大手自動車会社のFC 新型車両

2030年予測（環境省資料より）

販売比率16.6% 販売台数12.6万両



コストと生産量が課題

NEW technology

FCVコンバージョン

ディーゼルエンジン車両をFCV(燃料電池自動車)へコンバージョンすることで次世代車両/環境対応車両の比率を上げCO2削減目標の達成を目指す

